

平成22年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

| | | |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 日 時 | 平成23年2月4日(金) 14:00~17:22 | |
| 場 所 | 管理棟3階 大会議室 | |
| 構 成 員 | 29名 出席者24名 | 欠席者 5名 |
| 1号委員 (病院長) (議長) | | 須加原 一博 |
| 2号委員 (地域がん診療連携拠点病院長) | | 平安山 英盛 (県立中部病院長) (欠席) |
| | | 與議 實津夫 (那覇市立病院長) |
| 3号委員 (がん診療連携支援病院長) | | 諸喜田 林 (北部地区医師会病院長) |
| | | 安谷屋 正明 (県立宮古病院) (代理)上原哲夫副病院長 |
| | | 松本 廣嗣 (県立八重山病院長) (欠席) |
| 4号委員 (沖縄県医師会長) | | 宮城 信雄 (欠席) |
| 5号委員 (沖縄県歯科医師会長) | | 比嘉 良喬 |
| 6号委員 (沖縄県薬剤師会長) | | 神村 武之 |
| 7号委員 (沖縄県看護協会会長) | | 奥平 登美子 |
| 8号委員 (沖縄県政策参与) | | 玉城 信光 |
| 9号委員 (沖縄県福祉保健部長) | | 奥村 啓子 (欠席) |
| 10号委員 (がんセンター長) | | 増田 昌人 |
| 11号委員 (医療福祉支援センター長) | | 村山 貞之 |
| 12号委員 (薬剤部長) | | 宇野 司 |
| 13号委員 (看護部長) | | 川満 幸子 |
| 14号委員 (事務部長) | | 原田 隆治 |
| 15号委員 (各拠点病院より2名) | | 玉城 和光 (県立中部病院心療内科部長) |
| | | 上田 真 (県立中部病院乳腺外科部長) |
| | | 友利 寛文 (那覇市立病院外科部長) |
| | | 宮里 浩 (那覇市立病院外科部長) |
| 16号委員 (各支援病院より1名) | | 柴山 順子 (北部地区医師会病院看護部長) |
| 15号委員 (患者関係の立場の者) | | 吉田 祐子 |
| | | 三木 雅貴 |
| 16号委員 (有識者) | | 埴岡 健一 (特定非営利活動法人日本医療政策機構理事) |
| | | 山城 紀子 (ジャーナリスト) |
| | | 天野 慎介 (特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長) |
| 17号委員 (琉大病院長が必要と認める者) | | 砂川 元 (琉大病院歯科口腔外科長) |
| | | 吉見 直己 (琉大病院病理部長) (欠席) |
| 部会説明者 | 緩和ケア部会長 | 笹良 剛史 |
| | がん登録部会長 | 賀数 保明 |
| | 研修部会 | 中森 えり |
| | 相談支援部会長 | 樋口 美智子 |
| | 地域ネットワーク部会 | 佐村 博範 |
| | 普及啓発部会 | 長井 裕 |
| 陪席者 | | 植田 真一郎 (琉大病院臨床研究支援センター長) |
| | | 大城 薫 (沖縄県福祉保健部医務課医療対策班長) |
| | | 前川 守秀 (沖縄県福祉保健部医務課医務医療班員) |

資料の確認

増田委員から、資料の確認があった。

議事録署名人の選出

議事録署名人として、玉城(信光)委員と吉田委員が選出された。

議事要旨の確認

議長から、平成22年11月19（金）に開催の前の議事録について、確認があった。

報告説明事項

1. 平成22年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会について

増田委員から、1月17日に開催された幹事会について、資料3に基づき説明があり、本協議会報告事項及び審議事項等が話われたとの説明があった。

2. 沖縄県がん診療連携協議会・部会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき説明があった。

3. 埴岡委員からの報告

埴岡委員から、資料34に基づき、都道府県別がん死亡率格差等およびがん対策費等について、報告があった。

主な事項は次のとおりであった。

- ・がん死亡率は全国平均より低い、疾病別に見ると死亡率が高いものがある。
- ・がん死亡率改善度（1999-2009年）は、男性が全国平均以下であり、女性は全国平均並みである。
- ・男性の結腸がん及び直腸がん死亡率はともに全国2位である。
- ・子宮がん死亡率は全国2位である。
- ・男性の大腸がん、結腸がん、直腸がんの死亡率が悪い。
- ・男性の直腸がん死亡率改善率はワースト1位である。
- ・女性の結腸がん死亡率改善率も悪い。
- ・子宮がんの死亡率改善率が全国以下であり、不十分である。
- ・大腸がんの検診率が男女とも低い。
- ・子宮がんの検診率は全国平均並みであるが、死亡率が高い。
- ・男性の大腸がんの死亡率は、那覇市、石垣市等、都市部で増えていて、検診率も低い。
- ・女性の大腸がんも死亡率が高い都市部にあっても、検診率は低い。
- ・都道府県がん対策予算については、沖縄県は低い。

4. 天野委員からの報告

天野委員から、資料35に基づき、報告があった。

主な事項は次のとおりであった。

- ・国の平成23年度がん対策予算案は、総額580億円（厚生労働省343億円、文部科学省197億円、経済産業省40億円）である。
- ・がん対策推進協議会の今後の進め方は、がん対策推進基本計画等の重要事案については、専門委員会の設置と協議会集中審議を行う。
- ・がん診療連携拠点病院等の役割の見直しを行う。

審議事項

1. 第1号議案 緩和ケア部会「平成23年度事業計画と予算案」について

笹良部会長から、資料5に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。主な事業計画は次のとおりであった。

1. 離島医療圏内で1回以上「緩和ケア研修会」を行う。
 - ①各拠点病院でファシリテーター10名、各支援病院でファシリテーター5名を確保する。
 - ②指導者研修会への医師参加をサポートする。
2. 緩和ケア研修会指導者の育成
3. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする。
4. 緩和ケアフォローアップ研修会を開催する。
5. 緩和ケアの現状調査を行い、ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連絡を強化する。
 - ①「緩和ケア情報シート」の評価、現状調査を行う。
 - ②がん診療に携わる医師の「緩和ケア研修会」修了者数・未受講者数実態調査
 - ③疼痛除去率の調査

- ④「緩和ケア」に関する情報収集、整備を強化し、沖縄県がん診療連携協議会ホームページ等を活用し、情報をタイムリーに収集する。
6. 拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所（開業医）との合同カンファレンス

「部会予算約 6 5 0 万円」 ※各病院毎に拠出する。

| | |
|------------|------------|
| ・琉大病院 | 4 5 1 万円 |
| ・県立中部病院 | 6 9 万 4 千円 |
| ・那覇市立病院 | 6 9 万 4 千円 |
| ・北部地区医師会病院 | 4 7 万 6 千円 |
| ・県立八重山病院 | 6 万円 |
| ・県立宮古病院 | 6 万円 |

2. 第 2 号議案 がん登録部会「平成 2 3 年度事業計画と予算案」について

賀数部会長から、資料 6 に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。主な事業計画は次のとおりであった。

1. 地域がん登録へ協力する医療機関数を増やす。
2. 拠点病院以外への院内がん登録の普及を図る。
3. 沖縄県の地域がん登録および拠点病院の院内がん登録の強化を図る。
4. 拠点病院は院内がん登録研修会を企画開催し、支援病院は研修会に参加する。
5. 院内がん登録および地域がん登録情報の更新と見やすい形での定期開示を行う。
6. がん登録部会の活動を学会等で報告する。
7. 生存率の計測方法を調査し、施設の 5 大がん登録患者の生存率を計測する。
8. 拠点病院以外の施設の院内がん登録データを収集し、拠点病院と同様に集計結果を沖縄県がん診療連携協議会ホームページに公開する。
9. 厚生労働省科学研究（第三次対がん総合戦略研究）「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班（主任研究員西本寛） Collaborative staging の研究に協力する。
10. 厚生労働省がん臨床研究「医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムに関する研究

「部会予算約 1 7 1 万円」 ※各病院毎に拠出する。

| | |
|------------|------------|
| ・琉大病院 | 6 2 万 7 千円 |
| ・県立中部病院 | 1 6 万 7 千円 |
| ・那覇市立病院 | 1 6 万 7 千円 |
| ・北部地区医師会病院 | 8 千円 |
| ・県立八重山病院 | 4 0 万円 |
| ・県立宮古病院 | 3 4 万 4 千円 |

3. 第 3 号議案 研修部会「平成 2 3 年度事業計画と予算案」について

中森部会長から、資料 7 に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。主な事業計画は次のとおりであった。

1. 医師向けの早期診断のための研修会を開催する。
2. がん看護研修会の開催
3. 認定薬剤師制度の活用、薬剤師向け研修会実施
4. 協議会活動の報告
5. 研修会の人材バンク（講演者リスト）の作成
6. 拠点病院主催の研修会（院内も含む）スケジュール作成
7. 放射線技師向けコメディカルスタッフを対象とした研修会を開催する。
8. 検査技師向けコメディカルスタッフを対象とした研修会を開催する。

「部会予算約 2 1 5 万円」 ※各病院毎に拠出する。

| | |
|---------|--------------|
| ・琉大病院 | 1 2 4 万 7 千円 |
| ・県立中部病院 | 4 4 万 8 千円 |
| ・那覇市立病院 | 4 4 万 8 千円 |

4. 第4号議案 相談支援部会「平成23年度事業計画と予算案」について

樋口部会長から、資料8に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
主な事業計画は次のとおりであった。

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備
2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備
3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備
4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備
5. がん患者の療養上の相談体制の整備
6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備
7. (その他相談支援に関すること) 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

「部会予算約376万円」※各病院毎に拠出する。

| | |
|-------------|--------|
| ・ 琉大病院 | 272万円 |
| ・ 那覇市立病院 | 24万2千円 |
| ・ 県立中部病院 | 16万3千円 |
| ・ 北部地区医師会病院 | 9万9千円 |
| ・ 県立宮古病院 | 25万4千円 |
| ・ 県立八重山病院 | 28万6千円 |

5. 第5号議案 地域ネットワーク部会「平成23年度事業計画と予算案」について

佐村部会長から、資料9に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
主な事業計画は次のとおりであった。

1. 乳がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
2. 胃がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
3. 肺がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
4. 肝がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
5. 大腸がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
6. 前立腺がん地域連携クリティカルパスの作成・運用等
7. がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。
8. 沖縄県がん診療連携協議会ホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載し、共有する。また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。
9. がん地域連携クリティカルパス事業に参加する医療機関を対象に、かかりつけ施設が受け入れ可能な範囲を把握するためにアンケート調査を行う。
10. 患者用のパンフレットを作成し、各施設の受付に設置したり、主治医から患者に配布する。
11. 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

「部会予算約92万円」※各病院毎に拠出する。

| | |
|-------------|--------|
| ・ 琉大病院 | 66万1千円 |
| ・ 那覇市立病院 | 3万2千円 |
| ・ 県立中部病院 | 3万2千円 |
| ・ 北部地区医師会病院 | 3万2千円 |
| ・ 県立宮古病院 | 7万5千円 |
| ・ 県立八重山病院 | 8万4千円 |

6. 第6号議案 普及啓発部会「平成23年度事業計画と予算案」について

長井部会長から、資料10に基づき、説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

主な事業計画は次のとおりであった。

1. テーマを絞り一般向け講演会を開催する。
2. 各拠点病院にて、がん種毎に担当医一覧を作成し、ホームページに掲載する。
3. 情報提供の地域格差をなくす。
4. 学生及び保護者、教育者を含む学校関係者向けの講演会また普及啓発活動を行う。
5. がん患者さんへ、がん情報を提供するための環境整備とその充実化を図る。
6. がん検診キャンペーンを具体化する。
7. インターネットが利用できない人の為に、その他の情報提供手段を考える。
8. 一般向け講演会の人材バンク（講演会リスト）を病院別、がん種別に作成し、協議かホームページに掲載する。

「部会予算約 2 2 7 万円」 ※各病院毎に拠出する。

| | |
|-------------|--------------|
| ・ 琉大病院 | 1 2 6 万 4 千円 |
| ・ 那覇市立病院 | 3 2 万 1 千円 |
| ・ 県立中部病院 | 2 7 万 7 千円 |
| ・ 北部地区医師会病院 | 1 7 万 3 千円 |
| ・ 県立宮古病院 | 1 1 万 4 千円 |
| ・ 県立八重山病院 | 1 1 万 8 千円 |

7. 第 7 号議案 平成 2 3 年度各部会経費内訳案

増田委員から、資料 1 1 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
各予算は次のとおり

「琉大病院」

| | |
|------------|--------------|
| 緩和ケア部会 | 4, 510, 000 |
| がん登録部会 | 627, 600 |
| 研修部会 | 1, 247, 000 |
| 相談支援部会 | 2, 720, 880 |
| 地域ネットワーク部会 | 661, 440 |
| 普及啓発部会 | 1, 263, 720 |
| 合計 | 11, 030, 640 |

「那覇市立病院」

| | |
|------------|-------------|
| 緩和ケア部会 | 694, 000 |
| がん登録部会 | 167, 200 |
| 研修部会 | 448, 800 |
| 相談支援部会 | 242, 200 |
| 地域ネットワーク部会 | 32, 000 |
| 普及啓発部会 | 321, 000 |
| 合計 | 1, 905, 200 |

「県立中部病院」

| | |
|------------|-------------|
| 緩和ケア部会 | 694, 000 |
| がん登録部会 | 167, 200 |
| 研修部会 | 448, 800 |
| 相談支援部会 | 163, 500 |
| 地域ネットワーク部会 | 32, 000 |
| 普及啓発部会 | 277, 000 |
| 合計 | 1, 782, 500 |

「北部地区医師会病院」

| | |
|------------|----------|
| 緩和ケア部会 | 476, 400 |
| がん登録部会 | 8, 000 |
| 研修部会 | 0 |
| 相談支援部会 | 99, 200 |
| 地域ネットワーク部会 | 32, 000 |
| 普及啓発部会 | 173, 000 |

| | |
|------------|---------|
| 合計 | 788,600 |
| 「県立宮古病院」 | |
| 緩和ケア部会 | 60,000 |
| がん登録部会 | 344,000 |
| 研修部会 | 0 |
| 相談支援部会 | 254,400 |
| 地域ネットワーク部会 | 74,800 |
| 普及啓発部会 | 114,000 |
| 合計 | 847,200 |
| 「県立八重山病院」 | |
| 緩和ケア部会 | 60,000 |
| がん登録部会 | 400,400 |
| 研修部会 | 0 |
| 相談支援部会 | 286,100 |
| 地域ネットワーク部会 | 84,200 |
| 普及啓発部会 | 118,000 |
| 合計 | 948,700 |

8. 第8号議案 「市町村における子宮がんワクチンの公費負担」について

長井普及啓発部会長から、県内各市町村の子宮頸がんワクチン無料接種がほぼ決定したことを受けて、今回の要望書は取り下げる旨の説明があった。

9. 第9号議案 協議会委員および幹事会委員の代理出席について

増田委員から、資料14に基づき、各委員の代理出席について、協力依頼があり、審議の結果、承認された。

10. 第10号議案 各病院のがん対策担当事務責任者の幹事会への陪席について

増田委員から、資料15に基づき、事務担当者の陪席について、協力依頼があり、審議の結果、できるだけ考慮することになった。

11. 第11号議案 各病院のがん対策担当事務責任者の協議会への陪席について

増田委員から、資料16に基づき、事務担当者の陪席について、協力依頼があり、審議の結果、できるだけ考慮することになった。

12. 第12号議案 平成23年度協議会および幹事会の開催日時について

議長から、資料17に基づき説明があり、審議の結果、当初、幹事会は月曜日としていたが、火曜日とすることになった。

なお、協議会6月開催については、後日、調整することになった。

○協議会開催日程（予定）

- ・第1回：平成23年 6月 3日（金）14：00～17：00
- ・第2回：平成23年 9月 2日（金）14：00～17：00
- ・第3回：平成23年12月 2日（金）14：00～17：00
- ・第4回：平成24年 3月 2日（金）14：00～17：00

○幹事会開催日程（予定）

- ・第1回：平成23年 5月17日（火）15：00～18：00
- ・第2回：平成23年 8月16日（火）15：00～18：00
- ・第3回：平成23年11月15日（火）15：00～18：00
- ・第4回：平成24年 2月14日（火）15：00～18：00

13. 第13号議案 各部会委員への支援病院職員を追加することについて

増田委員から、資料32に基づき、支援病院からの部会委員の参加について、協力依頼があり、できるだけ考慮することになった。

14. その他
特になし

報告事項

1. 県の平成23年度「がん対策」関係予算の内訳と対策項目の提示について
大城県医務課班長から、資料18に基づき、沖縄県の平成23年度がん対策予算案（626,606,000円）について報告があった。
 2. 「『がんかわら版』出前屋」について
三木委員から、資料19に基づき、実施報告書及び次年度計画書の報告があった。
 3. 「がん検診啓発ポスター&ロゴマークコンテスト」について
増田委員から、資料20に基づき、コンテスト受賞作品を宮平乳業の製品に掲載することの報告があった。
 4. 「琉球大学に地域統括相談支援センターを設置すること」について
増田委員から、沖縄県から「地域統括相談支援センター」を琉大病院に委託されることから、今回の要望書は取り下げる旨の報告があった。
 5. 「県立病院における院内がん登録の早期開始」について
賀数がん登録部会長から、資料22のとおり、院内がん登録の早期開始について、依頼した旨の報告があった。
 6. 「拠点病院以外の施設の院内がん登録データの収集」について
賀数がん登録部会長から、資料23のとおり、依頼する予定である旨の報告があった。
 7. 「沖縄県地域がん登録の死亡情報の提供依頼と生存率の分析」について
賀数がん登録部会長から、資料24のとおり、依頼する予定である旨の報告があった。
 8. 「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第1回臨床試験部会」報告について
植田臨床研究支援センター長から、資料33のとおり、臨床試験部会とがん臨床開発ネットワークの概要（案）について、報告があった。
 9. 協議会委員の変更について
大城県医務課班長から、沖縄県からの委員は、今後は陪席者として出席する旨の報告があった。
10. その他
特になし

紙面報告事項

(1) 緩和ケア部会

資料25に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. 3年以内に宮古医療圏内（宮古島市）及び八重山医療圏（石垣市）でそれぞれ1回ずつ研修会を行う。
実績：石垣市で沖縄県緩和ケア研修会を開催した。
評価：10点
次年度：検討中
2. 緩和ケア研修会指導者の育成
①各拠点病院において、次年度内に緩和ケア研修会の指導者を精神部門1人、緩和ケア部門2人それぞれ配置する。
実績：県立中部病院、琉大病院では配置済、那覇市立病院に精神部門の指導者配置を働きか

けた。

評価：9点

次年度：平成23年5月、那覇市立病院から「緩和ケア指導者研修会」へ講師を派遣予定
がん拠点支援病院に緩和ケア指導者研修会修了者を配置する。

各拠点病院=10名、各支援病院=5名、研修会ファシリテーターを確保する。

②国立がんセンターおよび日本緩和医療学会主催の指導者研修会への医師の参加をサポートする。
沖縄県緩和ケア研修会の講師となる医師のリスト作成・管理、県内開催の緩和ケア研修会への講師を斡旋する。

実績：緩和ケア指導者研修会へ1名、精神腫瘍学のための指導者研修会へ2名参加した。

評価：6点

次年度：継続する。

3. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする。

実績：琉大病院 第1回2010.6.27(日)、7.25(日)

日本緩和医療学会 第2回2010.9.19(日)、9.20(日)

県立中部病院 第3回2010.11.28(日)、12.5(日)

那覇市立病院 第4回2011.1.23(日)、1.30(日)

評価：10点

次年度：継続する。

4. 緩和ケアの現状調査を行い、ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。

①各ホスピス病棟を持つ病院で使用している診療情報提供書のフォーマットを全県で統一する。

実績：実施済

評価：8点

次年度：「緩和ケア情報シート」の評価と解析

(2) がん政策部会

資料26に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. 乳がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 1-1 乳がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 1-2 乳がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 1-3 評価を行う。
2. 胃がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 2-1 胃がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 2-2 胃がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 2-3 評価を行う。
3. 肺がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 3-1 肺がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 3-2 肺がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 3-3 評価を行う。
4. 肝がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 4-1 肝がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 4-2 肝がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 4-3 評価を行う。
5. 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 5-1 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 5-2 大腸がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 5-3 評価を行う。

○上記1～5

・平成22年4月1日、県内で一斉に地域連携クリティカルパスの運用を開始した。

6. 5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。10回を目標

・10月12日に沖縄県医師会館で「平成22年度第1回5大がんクリティカルパス研修会」を開催した。

7. 沖縄県がん診療連携協議会ホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載する。また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。
 - ・沖縄県がん診療連携協議会ホームページに5大がん地域連携パスを掲載した。
8. がん地域連携クリティカルパス事業に参加する医療機関を対象に、かかりつけ施設が受入可能な範囲を把握するためにアンケート調査を行う。
 - ・未実施
9. 5大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。
 - ・前立腺がん地域連携クリティカルパスを作成予定。
10. 学会及び厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。
 - ・第12回日本医療マネジメント学会学術集会以て発表した。
平成22年6月11日（木）～12日（金）札幌コンベンションセンター
発表者：琉大病院がんセンター 仲本 奈々
演題：沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み
 - ・第11回日本クリニカルパス学会学術集会以て発表予定
平成22年12月3日（金）～4日（土）愛媛ひめぎんホール
発表者：琉大病院 仲本 奈々
演題：沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み
 - ・第111回沖縄県医師会医学会総会以て発表予定
平成22年12月12日（日）沖縄県医師会館
発表者：那覇市立病院 宮里 浩
演題：がん診療における病診・病院連携について
～沖縄県がん診療連携クリティカルパス運用開始後の動きを踏まえて～
 - ・第2回沖縄県医師会県民健康フォーラムで発表予定
平成23年2月5日（土）、12日（日）パシフィックホテル沖縄
発表者：那覇市立病院 宮里 浩
演題：地域医療連携について

(3) がん登録部会

資料27に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. 地域がん登録へ協力する医療機関数を増やす。
実績：平成23年10月13日に沖縄県医師会と共同で地域がん登録への協力依頼を行った。
評価：8点
次年度：継続する。
2. 拠点病院以外への院内がん登録の普及を図る。
実績：院内がん登録を実施していない施設を対象に「がん登録を始めるにあたっての説明会」を実施した。（説明実施機関：沖縄第一病院、沖縄セントラル病院、県立南部医療センター・こども医療センター、県立北部病院、県立八重山病院、県立宮古病院、与那原中央病院、大浜第一病院、沖縄協同病院、沖縄病院）
また、初期指導後の運用について、アンケート調査を行った。
評価：8点
次年度：県立4病院（北部病院、南部医療センター・こども医療センター、宮古病院、八重山病院）で今年度中に開始を目指す。八重山病院は平成23年1月開始予定
3. 沖縄県の地域がん登録および拠点病院の院内がん登録の強化を図る。
 - ①国立がん研究センター主催地域および院内がん登録研修会に参加する。
 - ②国立がん研究センターより講師を招き、地域がん登録の標準DBS研修を開催する。
 - ③国立がん研究センター主催院内がん登録初級者研修会に講師として参加する。
 実績：①平成23年7月9日、中級者研修1名修了（琉大病院 仲本奈々）（全国162、沖縄2名）
②11月25～26日に開催した。
③平成22年5月24日院内がん登録実務初級者研修会（東京）
県立中部病院 比嘉初枝、中部徳洲会病院 安里邦子

平成22年6月7日院内がん登録実務初級者研修会（福岡）
那覇市立病院 平安 政子
平成22年12月6日院内がん登録実務初級者研修会（福岡）
県立中部病院 比嘉初枝
平成22年12月9日院内がん登録実務初級者研修会（大阪）
中部徳洲会病院 安里邦子、那覇市立病院 平安政子

評 価：10点

4. 院内がん登録研修会を企画開催する。

がん種毎に「シリーズ化」年に4回「院内がん登録研修会」を開催する。

実 績：第1回がん登録研修会（6月19日、参加者84名）、第2回がん登録研修会（7月11日、参加者57名）、第3回がん登録研修会（12月11日、参加者55名）を開催した。

評 価：10点

次年度：継続する。

5. 院内がん登録および地域がん登録の定期開示を行う。

実 績：沖縄県と4拠点病院の集計結果を「沖縄県がん診療連携協議会・がん登録部会」ホームページに公開した。

評 価：5点

次年度：①沖縄県の「沖縄県地域がん登録事業報告書」に加えて、拠点病院の集計結果をまとめ、「沖縄県院内がん登録報告書」を作成し、それぞれを医療機関や市町村に配布する。

②協議会ホームページに掲載されている院内がん登録の集計結果を、各拠点病院のホームページからも閲覧できるようにリンクを貼る。（琉大病院のみ実施済）

③「平成21年度沖縄県がん登録事業報告書（平成18年の罹患集計）平成22年3月 沖縄県福祉保健部健康増進課 沖縄県衛生環境研究所」を作成した。今後、配布予定。

6. がん登録部会の活動を学会等で報告する。

実 績：①日本診療情報管理学会学術大会にて発表

平成22年9月16～17日、ホト文化ホール（長野県民文化会館）

発表者：那覇市立病院 平安政子

演題：沖縄県における院内および地域がん登録の普及と精度向上のための取り組み

発表者：琉大病院 仲本奈々

演題：沖縄県における院内および地域がん登録導入のための取り組み

②地域がん登録全国協議会第19回学術集会

平成22年10月15日、横浜赤レンガ倉庫1号館

発表者：沖縄県衛生環境研究所 賀数保明

演題：沖縄県のがん罹患状況について（平成18年度）

評 価：10点

次年度：継続する。

7. 施設の登録患者の生存率を計測する。

実 績：未実施

評 価：1点

次年度：まずは、5大がんから開始する。

8. 予後情報を沖縄県地域がん登録情報より抽出できるよう働きかける。

実 績：がん登録部会から、沖縄県衛生環境研究所へ依頼し、予後情報提供に係る疑義について回答があった。平成22年10月に地域がん登録届出票を提出した医療機関に対する当該届出票にある患者について、地域がん登録データから死亡情報の提供が可能となった。

評 価：1点

次年度：がん登録部会に参加する施設から、沖縄県に対し「沖縄県地域がん登録情報利用申請書」を提出する。得られたデータを解析し、生存率を計測する。

9. 厚生労働省科学研究（第三次対がん総合戦略研究）「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班（主任研究員西本寛）のCollaborative stagingの研究に協力する。

実 績：平成22年7月「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班会議に参加した。

評 価：2点

次年度：当該研究班からの依頼、研究計画書を確認、手続きを進める。

10. QI 研究に協力する。

実績：平成23年1月から、大腸がん、胃がんについて、研究を行うことが決定した。各施設（琉大病院、那覇市立病院、県立中部病院、中部徳洲会病院）から国立がんセンターへ承諾書を提出済

評価：2点

次年度：継続する。

(4) 研修部会

資料28に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. 医師向けの早期診断のための研修会を開催する。

| | | |
|--------------------------|------------|--------|
| 実績：「卵巣がんに関する早期診断のための研修会」 | 平成22年7月15日 | 琉大病院 |
| 「前立腺がんに関する早期診断のための研修会」 | 平成22年7月15日 | 那覇市立病院 |
| 「膵臓がんに関する早期診断のための研修会」 | 平成22年7月15日 | 県立中部病院 |

評価：9点

次年度：継続する

2. がん看護研修会の開催

実績：次のとおり開催した。

| | | |
|------------|-------|---------|
| 平成22年9月23日 | 那覇地区 | 那覇市立病院 |
| 平成22年10月2日 | 宮古地区 | 県立宮古病院 |
| 平成22年10月3日 | 八重山地区 | 県立八重山病院 |

評価：7点

次年度：沖縄県看護協会と共催を提案中

3. 認定薬剤師制度の活用、薬剤師向けの研修会実施

実績：平成22年5月7日および7月2日に「在宅ケア・緩和医療薬学セミナー」を開催した。

評価：7点

次年度：沖縄独自のがん修了単位を与えるよう企画中

4. 協議会活動の報告

実績：平成22年12月12日に医師会総会にてポスターセッションを行った。

評価：6点

(5) 相談支援部会

資料29に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. がん病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備

①患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシを作成・配布する。

・3拠点病院と北部地区医師会病院へ配布済。

実績：3拠点病院相談支援センターの案内ポスター、チラシ、リーフレットを作成し、拠点病院、北部地区医師会病院へ配布した。

②インターネットを利用した患者・がん相談実務者向けがん情報を発信する。協議会ホームページにて各拠点病院ホームページおよびがん情報（「アスベスト関係の相談窓口集」等）のリンク先を追加する。

実績：協議会ホームページにがん情報のリンク先を追加した。また、がん患者必携改訂版の作成にあたり、沖縄県と情報交換を行っている。

評価：8点

次年度：継続する。

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備

実績：那覇市立病院作成の「がんに関する医療機関情報調査表」を参考に、依頼文・調査票を作成した。（第3回沖縄県がん診療連携協議会で調査実施の承認済）

評価：5点

- 次年度：継続する。
3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備
 実績：がん相談支援員実務者対象「がん相談支援員実務者研修会」を4月、5月、7月、10月に開催した。
 評価：8点
 次年度：継続する。
4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備
 実績：平成22年11月にがん診療実施の医療機関（32施設、拠点病院除く）アンケート調査を実施した。22機関から回答あり、集計中。また、各拠点病院ホームページのセカンドオピニオン担当医師リストを更新した。
 評価：8点
 次年度：継続する。
5. がん患者の療養上の相談体制の整備
 ①拠点病院やがん診療支援病院及びがん診療を行っている病院にて共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できるよう、支援・連携を図る。
 実績：緩和ケア部会と連携し、「緩和ケア情報シート」を作成した。オリブ山病院、アドベンチストメディカルセンター、南部病院、沖縄病院で活用している。
 ① がん診療支援病院制度、常勤MSWの配置について沖縄県に提言及び支援を求める。
 実績：沖縄県がん対策アクションプラン「がん相談支援室の環境整備・人材育成」に提言済
 評価：8点
 次年度：継続する。
6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備
 ①がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。
 実績：未実施
 評価：1点
 次年度：継続する。
7. (その他相談支援に関すること) 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築
 ①沖縄県内の患者会リストを作成し各患者会へ協議会ホームページ掲載やリンクを提案する。
 実績：協議会ホームページのリニューアルに伴い、各患者団体についての患者会照会シートを掲載済
 ②各拠点病院における医療職・看護職へピアサポートの普及啓発を図る。
 実績：平成22年11月に那覇市立病院の職員を対象に「患者・家族会に関するアンケート調査」を実施した未実施
 ③垣根を越えたがん種別患者会連合会結成への支援と沖縄県からの支援を求める（県内各福祉保健所の会場提供・広報等）
 実績：平成22年8月より中部福祉保健所で「がん患者会連合会」行事を定期開催可能となった。
 評価：8点
 次年度：継続する。

(6) 地域ネットワーク部会

資料30に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. 乳がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 1-1 乳がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 1-2 乳がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 1-3 評価を行う。
 実績：那覇市立病院で3例、クリティカルパスの運用を開始した。
 評価：7点
 次年度：各施設で10例クリティカルパスの運用を開始する。

2. 胃がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 2-1 胃がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 2-2 胃がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 2-3 評価を行う。
 実績：那覇市立病院で2例、クリティカルパスの運用を開始した。
 評価：7点
 次年度：各施設で10例クリティカルパスの運用を開始する。
3. 肺がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 3-1 肺がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 3-2 肺がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 3-3 評価を行う。
 実績：クリティカルパスの運用なし
 評価：5点
 次年度：各施設で10例クリティカルパスの運用を開始する。
4. 肝がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 4-1 肝がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 4-2 肝がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 4-3 評価を行う。
 実績：クリティカルパスの運用なし
 評価：5点
 次年度：各施設で10例クリティカルパスの運用を開始する。
5. 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価
 - 5-1 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
 - 5-2 大腸がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
 - 5-3 評価を行う。
 実績：那覇市立病院で1例、クリティカルパスの運用を開始した。
 評価：7点
 次年度：各施設で10例クリティカルパスの運用を開始する。
6. 5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。
 実績：次のとおり研修会を実施した。
 - 10月12日、沖縄県医師会
 - 10月27日、北部地区医師会
 - 11月29日、琉大病院
 評価：7点
 次年度：各専門施設（15施設）で、院内研修会を行う。
7. 沖縄県がん診療連携協議会ホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載する。また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。
 実績：沖縄県がん診療連携協議会ホームページに5大がん地域連携パスを掲載した。また、パス事業への申込書、同意書雛形、事業参加医療機関一覧も公開した。
 評価：10点
 次年度：HP公開継続。参加医療機関を募る。
8. がん地域連携クリティカルパス事業に参加する医療機関を対象に、かかりつけ施設が受入可能な範囲を把握するためにアンケート調査を行う。
 実績：未実施
 評価：1点
 次年度：かかりつけ施設にアンケート調査を行い、受入状況把握し、パスを円滑に運用する。
9. 5大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。
 実績：11月に前立腺がんワーキンググループを設置し、12月に第1回作成ワーキングを行った。前立腺がんクリティカルパス（案）を作成中
 評価：8点
 次年度：前立腺がんクリティカルパスを運用する。他のがんについても、クリティカルパスを作成する。

10. 学会及び厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

実績：次のとおり報告（発表）した。

①第12回日本医療マネジメント学会学術集会

平成22年6月11～12日（金）札幌コンベンションセンター

発表者：琉大病院 仲本 奈々

演題：沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み

②第11回日本クリニカルパス学会学術集会

平成22年12月3～4日（土）愛媛ひめぎんホール

発表者：琉大病院 仲本 奈々

演題：沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み

③第111回沖縄県医師会医学会総会

平成22年12月12日（日）沖縄県医師会館

発表者：那覇市立病院 宮里 浩

演題：がん診療における病診・病院連携について

～沖縄県がん診療連携クリティカルパス運用開始後の動きを踏まえて～

評価：10点

次年度：継続する。

(7) 普及啓発部会

資料31に基づき報告があった。

事業項目毎の状況は次のとおりであった。

1. テーマを絞り一般向け講演会を開催する

「子宮頸がん」を中心とした内容で啓蒙を啓るための講演会を開催する。

実績：次のとおり実施した。

①那覇看護専門学校 6月22日（火）に開催した。アンケート89%回収

②沖縄県立看護大学 6月28日（月）に開催した。アンケート96%回収

③おもと会沖縄看護専門学校 8月23日（月）に開催した。アンケート92%回収

※ぐしかわ看護専門学校 平成23年2月25日（金）実施予定

評価：8点

次年度：一般向けの講演会を開催する。

2. 各拠点病院にてがん種毎の担当医一覧を作成し、ホームページに掲載する。

実績：全ての拠点病院ホームページに、がん種毎の外来担当医を掲載した。

評価：10点

次年度：HPを更新する。

3. 情報提供の地域格差をなくす

情報格差をなくすため、離島圏における学生、一般の講演会を開催する。

実績：未実施

評価：0点

次年度：県主催の離島での健康関連イベントでがん啓発の講演会を行う。

4. 学生及び保護者、教育者を含む学校関係者向けの講演会または普及啓発活動を行う。

- (1) 沖縄県教育庁保健体育課にご協力いただき、学生及び保護者、教員を含めた講演会を行う。

実績：沖縄県教育委員会主催「平成22年度沖縄県養護教諭研修会」で講演を行った。

月日：平成22年11月5日（金） 宜野湾市民会館大ホール

演題：「子宮頸がん予防ワクチンについて」

※沖縄尚学高等学校・附属中学校で講演予定

月日：平成23年1月29日（土）

演題：HPVワクチンに関する講演

- (2) 高校生を対象とした啓発ポスターコンテスト及び普及啓発部会ホームページ用のロゴマークコンテストの企画と実施。

実績：県内高等学校67校へがん啓発ポスターおよびロゴマークコンテスト応募用紙と子宮がんワクチンに関するパンフレット(56,000部)を送付した。

- (3)美ら島総体への普及啓発活動を行う。
・大会規制の関係上、未実施
評 価：9点
次年度：学生及び保護者、教育者を含む学校関係者向け講演会または普及啓発活動を行う。
5. がん患者さんへ、がん情報を提供するための環境整備とその充実を図る。
実 績：琉大病院がんセンター内に情報ブースを設置。那覇市立病院、県立中部病院で環境整備を進めている。
評 価：10点
次年度：環境整備とその充実を図る。
6. がん検診キャンペーンを具体化する。
実 績：次のイベントを実施した。
平成23年1月29日（土） ホテル日航那覇グランドキャッスル
沖縄がんフォーラム（市民公開講座）
「大腸がんを知ろう」
講演者：鳥越俊太郎
共催：株式会社ヤクルト本社
評 価：10点
次年度：肺がん、子宮がんをテーマに講演会を行う。
7. インターネットが利用できない人の為に、その他の情報提供手段を考える。
実 績：三木委員が企画・実施している「がんかわら版」の広報活動に協力している。
評 価：9点
次年度：引き続き、「がんかわら版」に協力する。
8. 協議会ホームページの内容の充実を図る
実 績：8月16日にホームページをリニューアルした。
評 価：10点
次年度：事業計画に組み込み、更新を進める。
9. 一般向け講演会の人材バンク（講演会リスト）を作成し、協議会ホームページに掲載する。
実 績：がん診療を行っている医療機関30施設へ依頼し、返信のあった医療機関を沖縄県がん診療連携協議会ホームページの「一般者向け後援者リスト」に病院別、部位別に掲載している。
評 価：10点
次年度：病院別リストを追加する。

以上